

仙台デザイン専門学校
令和2年度 学校関係者評価報告書
(実施日 令和3年5月31日)

令和3年6月

学校法人 北杜学園
仙台デザイン専門学校

1. 「学校関係者評価」の実施方法について

学校法人北杜学園仙台デザイン専門学校の学校関係者評価については、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に沿って実施・作成した「令和2年度自己点検評価報告書」について、仙台デザイン専門学校に関係の深い業界等の評価委員に評価を受けました。

各評価委員には、事前に「自己点検評価報告書」及び「学校評価」に関連する資料等を配布したうえでご意見等を聴取いたしました。

各評価委員から頂戴いたしました貴重なご意見などを、今後の学校運営や学校教育の場で活かし、「デザインする心」を持った有能なる人材育成に努めてまいりたいと存じます。

なお、「令和2年度 自己点検評価報告書」を併せてご覧ください。

令和3年6月
学校法人北杜学園
仙台デザイン専門学校
校長 鈴木 一樹

2. 学校関係者評価委員一覧表

氏名	選出区分	職名	備考
和田 冬樹	企業関係者	仙台デザインワークス株式会社 代表取締役社長	外部委員
大泉 由梨	企業関係者	(有)BUCHICO DESIGN 代表	外部委員
北折 整	学識経験者	東北生活文化大学 副学長 美術学部教授	外部委員

3. 基準評価ごとの学校関係者評価・意見

(1) 教育理念・目的

【現状及び課題】

- 教育目標や教育理念、将来像等は学生便覧に掲載し、新入生ガイダンスにおいて学生にしっかりと伝え、指導している。また、保護者に対しても同資料を配布し、本学の概要について周知に努めている。外部への周知については北杜学園ホームページ上に仙台デザイン専門学校として展開しており、更に本校 SNS 等により学生生活や学修成果、イベントに至るまで幅広く告知を行っている。
- 令和元年度よりシラバスのガイドライン作成やシラバスのフォームの刷新を図り、授業計画に活かしている。

【関係者評価・意見】

- 教育目標を明確に定め、その目標を達成するために学内のすべてが運用されている。一貫した目的意識とそれに伴う成果は評価に値すると考える。
- 常に時代や業界のニーズに合わせた人材育成に取り組んでいると思われる。
- 教育理念・目的は適切であると思われる。

(2) 学校運営

【現状及び課題】

- 学園方針に則り年度目標を定め、就職内定率、資格取得率、退学防止等を設定し、教職員が団結、協力して業務に取り組んでいる。また、シラバスや履修時間を確認し、各項目において自己点検を実施しており、コンプライアンスに努めている。
- 教育活動に関する情報はHP等で適時公開しているが、令和元年度よりシラバス等の情報公開を行っている。
- 具体的な教育内容等については学校案内パンフレット、学校HPを通して関係業界や地域社会及び入学希望者等に向けて最新情報を発信している。
- 学校財務情報、学校自己点検評価、学校関係者評価については文部科学省のガイドライン等に従って、適切に公開している。

【関係者評価・意見】

- 学校運営は適切に行われており、その情報はウェブサイト等で公に公開されているため、外部からの判断も容易である。また、内部の全教職員が更なる改善に努めており、今後の運用に期待が持てる。
- シラバスの公開や、具体的かつ明確な情報をパンフレットに記載するなど、外部への積極的な情報公開への姿勢が窺える。近年の学生の動向から教員の業務量が激増していることが気にかかる。
- 学校運営は適切になされていると思われる。

(3) 教育活動

【現状及び課題】

- 教育理念、業界ニーズを踏まえた人材育成の観点から、カリキュラムの見直しを行い、必要に応じて整備している。
- 授業評価においては学生による授業評価アンケートを毎年実施し、各教員へフィードバックしている。これにより、授業方法や学生対応、授業資料等の改善等に努めることができ、学生の授業満足度を向上することが出来る。これらのことを踏まえて外部講師による就職ガイダンス等実施している。(令和2年度はリモートにより実施。) また、面接等の試験結果を求人先よりフィードバックを受け、学生支援の一助としている。

【関係者評価・意見】

- 日進月歩する電子化やITの進化、業界のニーズに対応し、カリキュラムが日々見直されており、都度設備機器等も増設されているため、学生に対し十分な教育がなされている。
- コロナ禍でも学生の学業に差し障りが出ることのないよう様々な工夫がなされていた。就職支援においても各教職員が例年以上にフォローに努めていた。
- 教育活動は適切に行われていると思われる。

(4) 学修成果

【現状及び課題】

- 担任制のため、学生指導、生活指導や面談、相談等にきめ細かく対応できている。保護者との連絡も密に行っており、情報も共有している。
- 就職率向上については、経験者が優遇されるデザイン業界の厳しい採用状況に対応するため、就職活動の実践的なカリキュラムとして、1年次に必修科目「就職指導Ⅰ」にて、社会人としてのマナー・心構え・自己分析を行い、2年次には選択科目として「就職指導Ⅱ」で履歴書作成・面接指導等企業対応の指導を実施し就職率向上につなげている。
- 就職内定者の向上を目指すためには、就職担当者、学生及び担任との連携が不可欠であり、今後の担任の指導力に期待する。
- 退学者の中で高等学校までの不登校や生活習慣、精神的特性に社会・業界とのギャップがあり、退学に至るケースが少なくない。その差をどの程度まで埋め、モチベーションを維持しつづけられるかが退学率低減の鍵となる。なお、該当する学生へのフォローやケアを強化し、不登校にならないよう予防に努めている。

【関係者評価・意見】

- 輩出される学生の技術レベルは高く、社会人として不可欠な人格形成や生徒一人ひとりに対するメンタルケア等も考慮されたフォローアップがなされており、就職率から鑑みる学修成果は評価に値する。
- 様々な事情や疾患を抱えた学生が多い中、丁寧な対応を行い、一人でも多くの学生が卒業・就職へと進めるよう、日々尽力されている。
- 学修成果について適切であると思われる

(5) 学生支援

【現状及び課題】

- 各担任、教科担当が学生本人および保護者と連携し、デザイン関連業界で幅広く活躍できる技術の習得に励んでいる。また、定期的に出席状況や各教科における成績を保護者に報告、問題があると判断される場合は保護者面談等も実施している。
- 学園全体での取り組みとして、独自の奨学金制度や寮・アパートの斡旋など、学生への経済面・生活面に対する支援を行うとともに、学園本部に学生相談室を設け、さまざまな悩みに対するカウンセリングを行い、精神面における支援も行っている。
- 学生の気質を考慮して、令和元年度より毎週定期的に学内に学生相談室を設け、従来ある学生相談室と併用して、精神的な悩みや不安を抱える学生のケアに努めている。
- 職業理解をはじめガイダンス等への参加や教育環境の開放等も実施、中高校生等へのキャリア教育推進にも努めている。
- 社会の動きや就職活動を取り巻く現状認識が低く、就職活動を先送りする傾向が強い学生のため、効果的な現場の声として、スタートアップセミナー・内定者講話・OB講話・企業講話・就職相談会・各種就職ガイダンス等を開催し、学生の意識改革に継続的に取り組んでいる。

【関係者評価・意見】

- 学生に対する経済面でのバックアップ体制および、生活面でのフォロー体制が充実しており、支援の仕組みが確立されている。また、生徒単位での生活環境への介入は昨今の世情を鑑みると難しい部分ではあるが、適切に対応がなされている。
- 精神疾患を抱える学生への対応や、教員同士の連携など常に心掛けられている。就職への意識も含め、心身ともに学生を支えるべく日々取り組まれている。
- 学生支援は適切であると思われる。

(6) 教育環境

【現状及び課題】

- 職業人を輩出するために、より高度な職業教育、実践教育を目指してパソコンやデザインツールの更なる充実を図る必要がある。ネットワーク環境については各HRに無線LANを配備し利便性の向上に努めている
- WEB教室のパソコンを増設するなど、教育設備の更なる向上を図っている。
- 学校消防計画及び安全計画などの防災に対する体制が整備されている。

【関係者評価・意見】

- 校内の設備および学生への支給品等は、年度ごとに適切に更新させており、教育環境の向上が正しく行われている。また、防災設備の点検や避難訓練の実施等も定期的に行われており、生徒の安全面での配慮は適切である。
- 年度によって大きく変わるコースごとの人数変更などにもしっかり対応されている。機器整備や作品掲示など、学生が制作に取り組みやすい環境をキープしている。
- 教育環境について適切であると思われる。

(7) 学生の受入れ募集

【現状及び課題】

- 学校案内やホームページ、学校説明会、模擬授業、その他進学情報誌等に掲載する情報ならびに説明表現については、真実性、公平性、明瞭性を考慮して公開している。また、資格取得実績や就職、卒業生の活躍等の教育成果についても「個人情報公表に関する同意書」に基づき公開している。
- 学納金は、教育内容、学生本人および保護者の負担感を考慮したうえ設定し、募集要項に明記している。

【関係者評価・意見】

- 入学前に必要な情報をウェブサイトや SNS、また紙資料等で公に公開しているため、情報の正確性が担保されている。またオープンキャンパス等の事業により、実際の学内の様子を入学希望者に事前に公開しており、学生の受け入れ態勢に十分な配慮がなされている。
- 広報スタッフと細やかに連携を取り、常に新しい情報が発信されている。今の高校生に有効だと思われる募集活動、情報公開を常に行っていると思われる。
- 学生の受入れ募集は適切であると思われる。

(8) 財務

【現状及び課題】

- 財務に関して、本校は堅調な運営の結果、過去3か年度にわたり、帰属収支差額は黒字で推移しており、安定した財務基盤を有している。また、予算・収支計画は過年度の財務状況に照らして、有効かつ適正に行われている。
- 会計監査については、監事が、理事会及び評議員会に出席し意見を述べ、また、学校法人の業務及び財産の状況について監査し、毎会計年度後、監査報告書を作成し、当該会計年度終了後2ヶ月以内に理事会及び評議員会へ提出している。
- 学園全体として、監事の監査を支援するために、学校法人運営状況の定期報告、公認会計士及び内部監査の担当部署として設置している業務監査室との意見交換、学校法人制度の最新情報の提供などを行っている。

【関係者評価・意見】

- 公開されている財務状況から、財務・収支計画に即した運用がなされていることが確認できる。また、会計監査も適切に機能しているため、その状況は良好であると判断できる。
- 学生の支援や教育に有効な財務計画が立てられている。
- 財務については適切であると思われる。

(9) 法令等の遵守

【現状及び課題】

- 全教職員は学園が掲げるコンプライアンスの意識をもち、各業務にあたっている。また、定期的に自己評価を行い、日々の業務等における問題点がないか確認・改善に努めている。
- 個人情報保護に関しては、「学校法人北杜学園 個人情報保護規定」に基づき、学園が有する個人情報については、学園プライバシー・ポリシー（個人情報保護方針）に基づく適正な保護の実現を図っており、資格取得実績や就職、在校生・卒業生の活躍等の教育成果等「個人情報公表に関する同意書」による同意を得た上で事実に基づき公開している。

【関係者評価・意見】

- コンプライアンスに対する意識の改革が全教職員に行き渡っており、十分な体制を整えていることが確認できる。
- 学生はもちろん、教職員、非常勤講師間でも個人情報保護への対策などがきちんととられている。
- 法令等の遵守は適切であると思われる。

(10) 社会貢献・地域貢献

【現状及び課題】

- 本校は、社会に貢献しうるデザインマインドを持った人材育成を目標としており、日々の鍛錬において習得したデザインスキルを以って、社会貢献・地域貢献を目指し、社会活動や地域活動を推奨している。パブリシティを考慮した課題テーマや、各地方自治体や企業・団体等からの依頼に基づくテーマを取り上げるなど幅広く社会のニーズに対応している。
- 企業との連携により、企業主催のデザインコンペの企画に協賛し授業課題として作品を仕上げ、その作品を出展し実績を上げている。
- 現在、テクノロジーが加速度的に進んでいる中で、学校でデザインを学ぶだけでは足りなくなっていると思われる。もちろん基本的なデザインの知識はとても重要であるがそれに加え、新しいメディアやデバイスなどに即座に対応出来る様に、常に新しい手法を学び続ける事が必要とされる。

【関係者評価・意見】

- 地域社会への貢献と、学生が習得したスキルを活かした学外活動の融合を推進することは、これからの持続可能な世界の構築に必要不可欠であると考えられる。同じ取り組みを行う企業や地方自治体との連携の実績を生かし、引き続き学内活動と並行して推進していただきたい。
- 外部コンペへの積極的な参加に加え、コロナ過という状況の中でも可能な限り企業や自治体との連携がとられている。
- 社会貢献・地域貢献について適切と思われる。

《外部委員からの総評》

- 開校以来半世紀以上に渡り、堅固な教育体制を構築・維持をされ、人材の育成と輩出が行われていることに対し敬意と感謝の念に堪えません。貴校の存在が、地元宮城を始め全国各地のクリエイティブ業界及び地域社会への貢献は計り知れないものであると感じました。
- 質の高い授業・教育を提供するという本来の教員の職務に加え、年々増える精神疾患などを抱えた学生のケア、さらにコロナウィルス感染予防対策という問題が降りかかり、本当に大変な一年であったが、どんな状況にも教職員一丸となり、フレキシブルに対応されていると感じた。
- 教育目標を明示し、ここに謳われている「デザインする心」を持った有能なる人材の育成を達成することのできる学校運営がなされている。また、現代社会に柔軟に対応した教育活動及び学生支援等が行われている。